

平成 24 年 7 月 8 日 (日) 施行

## 第 168 回 全経簿記能力検定試験 3 級 商業簿記 解説

## 第 1 問

1. 元入れ→資本金の増加。

(借) 現金 (資産) の増加 土地 (資産) の増加	(貸) 資本金の増加 (純資産) の増加
--------------------------------	----------------------

2. (借) 仕入 (費用) の発生 (貸) 現金 (資産) の減少
- 
- 買掛金 (負債) の増加

3. 手形による借り入れ。借入金としないよう注意。

(借) 現金 (資産) の増加	(貸) 手形借入金 (負債) の増加
-----------------	--------------------

4. (借) 現金 (資産) の増加 (貸) 売上 (収益) の発生

5. (借) 受取手形 (資産) の増加 (貸) 売掛金 (資産) の減少

6. 小切手の振り出しは当座預金 (資産) を減少させる。

(借) 買掛金 (負債) の減少	(貸) 当座預金 (資産) の減少
------------------	-------------------

7. 当期に発生した売掛金が貸し倒れたので、貸倒損失 (費用) で処理する。

(借) 貸倒損失 (費用) の発生	(貸) 売掛金 (資産) の減少
-------------------	------------------

## 第 2 問

期首貸借対照表

現金	30,000	買掛金	650,000
当座預金	1,560,000	借入金	2,000,000
売掛金	550,000		
受取手形	300,000		
商品	410,000	期首純資産	3,000,000
車両運搬具	2,800,000		

期末貸借対照表

現金	50,000	買掛金	750,000
当座預金	2,100,000	借入金	1,800,000
売掛金	600,000	未払金	50,000
受取手形	400,000		
商品	550,000	期首純資産	期末純資産
車両運搬具	2,100,000		3,200,000
		当期純利益	200,000

1. 期首資産＝期首負債＋期首純資産 の関係より

$$\text{期首純資産} = \text{¥}5,650,000 - \text{¥}2,650,000 = \text{¥}3,000,000$$

2. 期末についても 期首資産＝期末負債＋期末純資産 であるから

$$\text{期末純資産} = \text{¥}5,800,000 - \text{¥}2,600,000 = \text{¥}3,200,000$$

また、当期中に純資産を直接的に増減させる取引 (資本金等の増減) はなかったので、

期末純資産＝期首純資産＋当期純利益 の関係より

$$\text{当期純利益} = \text{¥}3,200,000 - \text{¥}3,000,000 = \text{¥}200,000$$

3. 収益総額＝費用総額＋当期純利益 の関係より、費用は¥21,800,000 であるから

$$\text{収益総額} = \text{¥}21,800,000 + \text{¥}200,000 = \text{¥}22,000,000$$

### 第3問

5月16日 商品代金の一部前払

(借) 前払金	80,000	(貸) 現金	80,000
---------	--------	--------	--------

現金が減少 ⇒ **出金伝票**

5月18日 為替手形の振り出し

(借) 買掛金	500,000	(貸) 売掛金	500,000
---------	---------	---------	---------

辺野古商店への買掛金の支払いを、座間味商店に引き受けてもらう。

→座間味商店に対する売掛金が減少。

現金取引ではないので**振替伝票**を使用する。

5月22日 売掛金の回収

(借) 現金	320,000	(貸) 売掛金	320,000
--------	---------	---------	---------

現金が増加 ⇒ **入金伝票**

### 第4問

6月8日 商品の仕入

前月繰越と単価が同じなので、仕入後の残高は(80個+200個)×@¥100=¥28,000として記入。

6月13日 商品の払出

150個払い出すので、残りは130個

6月15日 商品の仕入

仕入前残高(130個×@¥100)とは単価が違うので、合算して記入することができない。よって

}	仕入前残高	130個×@¥100=¥13,000
	仕入分	250個×@¥110=¥27,500

として併記する。

6月20日 商品の払出

先入先出法なので、払い出す250個中、先に仕入れた130個(@¥100)を全て払い出す。

残りの120個分を、後からの仕入分(@¥110)で払い出す。

## 第5問

### 決算整理事項

#### 1. 売上原価の計算

期首商品棚卸高は残高試算表より ¥480,000

(借) 仕 入	480,000	(貸) 繰越商品	480,000
繰越商品	520,000	仕 入	520,000

#### 2. 貸倒引当金の計上

売掛金の期末残高は ¥1,000,000

$$¥1,000,000 \times 1.2\% = ¥12,000$$

差額補充法で処理するので繰入額は ¥12,000 - ¥7,000 = ¥5,000

(借) 貸倒引当金繰入	5,000	(貸) 貸倒引当金	5,000
-------------	-------	-----------	-------

#### 3. 減価償却費の計算

備品の取得価額は ¥6,000,000、耐用年数 6 年、残存価額はゼロなので、年間の減価償却費は、

$$¥6,000,000 / 6 \text{ 年} = ¥1,000,000$$

直接法なので、備品から直接控除する。

(借) 減価償却費	1,000,000	(貸) 備 品	1,000,000
-----------	-----------	---------	-----------

#### 4. 現金過不足の処理

¥3,000 を雑益（収益）として処理する。

(借) 現金過不足	3,000	(貸) 雑 益	3,000
-----------	-------	---------	-------

#### 5. 引出金の処理

引出金の金額 ¥100,000 を資本金から控除する。

(借) 資 本 金	100,000	(貸) 引 出 金	100,000
-----------	---------	-----------	---------